

ポイント 時価会計は損益がありますが、減損会計は損失のみとなります。

A8 時価会計ではすべての資産について時価を認識し時価評価することが必要になりますが減損会計では減損の兆候のあるものだけが対象となります。

また、時価会計では資産について含み益があらうと含み損であらうと帳簿価額を時価におきかえていくわけですが、減損会計では帳簿価額のうち回収ができないと判断される部分についてのみ損失を計上されることになり評価益の計上はありません。

さらに時価会計であれば決算期毎に時価評価していくわけですが、減損会計では減損の兆候のあったときに減損の調査を行い回収可能価額の算定を行います。

	時価会計	減損会計
対象資産	債権、有価証券、デリバティブ商品、ゴルフ会員権	固定資産
適用	すべての資産	減損の兆候のある資産
評価方法	含み損、含み益にかかわらず全ての資産の帳簿価額を時価評価	回収不能額について損失計上
評価の頻度	每期	減損の兆候があるとき